

郷の集い

発行 新郷小学校PTA会
 編集責任者 齋藤一郎
 印刷 久野印刷(株)

卒業おめでとう

校長 矢原 勇雄

蛩雪の功なりて今日の日

を立派に迎えられたことは皆さん一人ひとりの努力の賜であることは言うまでもありませんが、ご両親を初め先生方や社会の人々のおかげであることにも心から感謝していただきたいと思えます。皆さんはこの一年間通学班長として毎日幼稚園児を学校へ連れてきてくれましたが随分気の張った仕事だったと思います。あんな幼なかつた時代から六年間の月日が流れ去り今日のよき日を迎えられたのです。

卒業は人生の節：

今年には三十八年以来の豪雪で寒く長い冬でした。しかし、どんなに厳しい冬でも三月の声を聞くとジンチヨウゲの花が咲き小鳥がさえずる陽春を迎えます。しかし、皆さんにとって六年生は二度とありません。何時も人ごとのように送り、迎えていたであろう「卒業」ということがあなた達自身の現実の問題となってきたのです。

竹が伸びて行く時に好むと好まざるとにかかわらず

節があるように私達の長い人生にもその多くの節があるのです。卒業とは誰でも体験するそしてあなた達にとっては、自分から考えることのできる、いや、自分で考えねばならぬ最初の大きな節といえましょう。その節が大きければ大きい程強ければ強いほど次の成長や伸展が約束されるものです。皆さんと一緒に学校生活を送ったのは僅かに一年間でしたが、皆さんは最高学年としてすばらしくよく頑張ってくれました。毎日の学校生活でリーダーとしての働きは勿論のこと、水泳の得意な人は水泳記録会で、走ることに得意な人は陸上記録会で、また、球技の得意な人はソフトボール・フットベースボール・サッカー大会で立派な成績をあげてくれました。心からご苦労に對し感謝いたします。

今、六ヶ年間のスクラムを解き波荒き日もある人生

航路に船出する時にあたり集中すれば一人の力といえども偉大であり協力すれば更に大きな力を産むことを体験したあなた方は満ちたりたたくましさの中にも友達同志が助け合う優しさをもって中学校への道を歩み進めていくことでしょう。

徳川家康の遺訓：

戦国動乱の世に現われた三人の英雄の一人です。織田信長・豊臣秀吉・そしてその後を引き継ぎ、徳川幕府三百年の礎を築きあげた人です。

PTA会長 山田 幹郎

・おのれを責めて人をせむるな及ばざるは過ぎたるよりまさされ。
 幼少の時代、今川義元の元で人質の生活を送り目的を達するまでその一生は、「忍」すなわち「がまんする」の一言であつたさうです。みなさん、夢を大きく

もって一歩一歩確実に歩くこと、努力すること、がまん強い心をもつこと。
 中学校へ行かれたら他校の皆さんと仲よくそして早く友達を作ってください。また健康に留意され、立派な中学生になられるよう心からお祈りしております。

最後に皆さんの御健康と御発展をお祈り致します。

新郷校の思い出を大切に

PTA会長 山田 幹郎

三月二十日は新郷小学校の卒業式です。卒業生の皆さんほんとうに御目出とう御座居ます。新郷校PTAを代表して心からお祝を申し上げます。又生徒をここまで立派に育てて下さいました先生方に深く敬意を表し今日までの御苦労に對しまして衷心より感謝を申し上げる次第であります。

新郷校PTA

御父兄の皆様も我が子の卒業を成長を大変喜んでおられる事と拝察し御同慶に存じます。卒業生の皆さんは後数日の小学校時代ですが今日までの色々な出来事を今一度思い出して下さい。その中には楽しかった、苦しかった事があると思いますが先生方の事、同級生友達の事、学校の校舎の事、勉強や運動会又は世の中の動き等を皆さんは皆さんの考えでしっかりと胸に刻みこんでおいて下さい。皆さんが中学校へ高校へと進学さ

れ将来は社会人となつた時に一番心から話の出来る人は小学校時代の同級生と友達であり小学時代の思い出が人生航路の心の「糧」となっていくものと私は思っています。皆さんは今一番平和な良い時代に育ちました。先生にも御父兄にも祝福されて卒業するのですが小学校時代の思い出だけは一生忘れないで下さい。御卒業される皆さんは、お父さんやお母さんからよく昔話を聞かされると思いますが、私の小学時代の楽しい思い出はよく相撲をした事、部落の運動会を行い色々な優勝旗を紙で作った事、学校の学芸会、夏には兵庫川や竹田川へ泳ぎに行った事などです。又苦しいと言うより暗い思い出としては、戦争中でしたから五、六年の頃は防空頭布を被って通学しました。福井の町が空襲で真赤に燃えた事等ですが暗い思い出の方が多い様に思っています。今の時代とは大変な違いであります。何かの参考になるかと思つて述べさせて頂きました。皆さんは今後中学校へ進学される事ですが、お世話になつた先生方や御父兄の御恩を忘れず、新郷小学校の名譽と後輩の為に一生懸命に頑張ってください。

昨年十二月の臨時総会におきまして当会の名称を新郷校PTAと改名致しました。理由を説明致し全会員の御了承をお願いしたいと思います。全国PTA災害保険加入、学校改築等の陳情書、又当会の対外的な活動、当会の活動そのものをPTAと呼び合っている現状、以上の様な事が理由であります。新郷校下の行事だけでなく以前の名称でも良いのですが、対外的な活動になりますと名称そのものに説明を加えなければならず、又使用する事も出来なかつた事を御理解下さい。会員の皆様には愛護会と言う名称が消滅する事を残念に思つておられる事と思いますが、新郷を愛し、守る気持ちは皆様不変のものであると私は信じております。

巣立ち・はばたき

卒業生の
①夢と希望
②尊敬する人物
③好きな言葉

青木 隆博

①世界一周・暖かいところへのんびりと
②徳川家康 ③誠意

③闘志

北川 佳宏

①スポーツの選手になりた
い ②織田信長
③柔よく豪を制す

吉江 かおる

①保母さん
②ヘレン・ケラー
③青春・努力

③根性・努力

白石 幸江

①果物屋さん
②ナイチンゲール
③大空

堂島 久美子

①旅行
②両親・おばあちゃん
③努力・ど根性

山崎 明子

①アフリカに行くこと
②ヘレン・ケラー
③根性

森 由香里

①かん者から好かれる看護婦さん
②両親 ③誠意・努力・勇気

東出 茂子

帰り見れば月日のたつのは早いものです。大きなカバンを背負い、上級生の後を一生懸命についていく後姿。あれから六ヶ年も過ぎたのかと思うと夢の様です。思い出せば、楽しかった事、苦しかった事、又勉強になった事など色々浮かんできます。子供が楽しく待った遠足、水泳、運動会、又最後の思い出深い修学旅行、先生方と共に楽しくやっていた様子が思い出されます。今日の激しい社会情勢にも流されず、日頃の先生方の熱心な教育のお蔭でゆとりある小学時代を送り、そして今、新しい中学時代へと一歩を踏み出そうとしています。新郷小学校出身の生徒として、又模範となつて活躍してくれることを願っている次第でございます。最後に、校長先生、諸先生方、大へんお世話になりました。ありがとうございました。

れで一番幼なかった我が子が早いもので、あと一ヶ月たらずで卒業することになりました。先生方には、子供たちに親も及ばぬご指導をたまわりました。ありがとうございました。思えば、六年の間には、親子共々数々の思い出があります。母親学級の研修旅行、クラブ活動、学習発表会、修学旅行、水泳大会、体育会のひとこま、最後の夏休みには、父兄同伴で民宿へとまり楽しくすごした夜など、すべて懐かしく思い出はつきません。卒業の喜びとともに、いよいよ四月からは中学生です。中学校は小学校とは違います。教科ごとに先生は違いますが、友達もかわりますが、人に迷惑をかけない、母校の名に恥じない健康で、明るい、すなおな子供になって欲しいと願っております。

今日までの六年間健康で伸び伸びと成長し、小学生生活を無事終えることが出来ました。これらも諸先生方の暖かい、ご指導ご尽力のたまものと思ひ、心から感謝し、お礼申し上げます。

齊藤 嘉康
①剣道の達人になること
ニューヨークへ行きたい
家を建て直したい
②エジソン。ガリレオ・ガリレイ
③今日の努力が明日への成功。

齊藤 考

①国家公務員
②板垣退助 ③精神統一

高嶋 利夫

①イースター島の石物(せきぶつ)の研究をしたい
②エイブ・リンカーン
③私は奴隷になりたくない。また、奴隷を使おう身にもなりたくない。

篠崎 陽一

①精密機械の技術者
②聖徳太子 ③根性

小嶋 彰

①宇宙旅行 ②野口英世
③必勝闘魂

中道 誠記

①月世界旅行 ②両親



わが子がランドセルをおろす日

山崎 恵美子

月日の流れは早いもので、大きな鞆を重そうに背おい、姉に手を引かれて新郷小学校門をくぐったのもこの間の様に思い出され、初めての運動会には旗をかざして先頭で走って来たあの子、男友達と喧嘩をして来た次女も早や、卒業です。私達親子が新郷小学校にお世話になったのは足掛九年、長い様で短かい歳月が

流れました。思い出せば数えきれない程、楽しい事、嬉しい事、辛い事等、色々ありました。勉強に、遠足、水泳大会、秋空の下での運動会では鼓笛隊、親子で踊る芦原音頭、それに学習発表会、そして想い出多い修学旅行等は子供達にとって一生忘れる事の出来ない一駒となる事でしょう。今日の激しい情報化時代にも流されず、日頃の先生方の熱心な教育のおかげで、ゆとりある小学生時代を悔いなし

く送り、胸に新たな希望と志を持って中学校と言う大きな集団の中に飛び込み、大波小波を乗り越えて大きく育ち、新しい未来を切り開き二十一世紀を力強く生きてほしいと願う一母親です。

最後にお世話になりました先生方、役員の皆様方に厚く御礼申し上げます。

親に手を引かれて小学校へ入学した当時、三月生ま

組でも一番小さくて、その上泣き虫で困ったものでした。学校へ行く道中、雨風の日や又大きな車が通るとみぞにはまりはしないかと案じたものでした。でも月

日たつのは早いもので今

春、卒業かと思うと、子供の成長の早さに今更ながら顔見直す事さえ有ります。今日までの六年間健康で伸び伸びと成長し、小学生生活を無事終えることが出来ました。これらも諸先生方の暖かい、ご指導ご尽力のたまものと思ひ、心から感謝し、お礼申し上げます。

今日までの六年間健康で伸び伸びと成長し、小学生生活を無事終えることが出来ました。これらも諸先生方の暖かい、ご指導ご尽力のたまものと思ひ、心から感謝し、お礼申し上げます。

吉江 旭子

小学校へ入学した当時は組でも一番小さくて、その上泣き虫で困ったものでした。学校へ行く道中、雨風の日や又大きな車が通るとみぞにはまりはしないかと案じたものでした。でも月日のたつのは早いもので今

わが子の卒業にあたって

学舎・母校・思い出

山崎 伊左夫

暖かい春の日校門の前で
どこの子が背が高いなど、
色々子供の話を話してい
る親達を、ニコニコ顔で見
聞きしていたことを思い出
す。昭和十七年四月、姉に
連れられ入学した時の私の
思い出である。卒業までの
間には色々なことがあった。
特に戦中戦後の物資不足で
教科書の紙が薄くタイプが
紙の裏まで写っていたり、
習字の練習は新聞紙を使い
しかも書いた上にまた書き
したものだ。また食糧難で
午後は勉強をしなく、イナ
ゴ取り、ヒトデ刈りをした
もので、これらは子供の私
達には結構楽しかったもの
である。ともあれ小学校時
代は勉強をしたと言う感じ
もないまま卒業した。

私の子は三人で昭和四十
三年長女の入学から今年次
女の卒業まで十三年間多く
の先生方にお世話になりま
した。我が子のように真剣
に心配して話して下さった
時の先生の顔が今私の眼に
次から次へと写ってきます。
この御恩は親子とも共忘れ
るものではありません。私
の育った小学時代と今では
時代の相違こそあれ色々な
面で違う。先般の両親学級

で講師の方が話されたよう
に、たしかに今は物を豊富
に与え過ぎる等、教育では
ない飼育である……。

ともあれ親をバットでな
ぐり殺し、先生に暴力をふ
るい学校内に警察権を導入
しなければいけないような
子供には育ててほしくない
と願う今日このごろである。

小嶋 昭 夫

三人の子供が新郷校に通
って十五年の歳月が流れた。
半世紀に手のとどく私に
とって新郷校とは我が家の
別棟の様に色んなことでつ
ながりがあった。
走馬灯の様に浮かぶ想い
出の中に幾つかの事が心の

底に定着しているものが学
校にはあるものだ。

学校へゆき一番最初に感
じた事は内運で上級生に押
しつぶされるのではないか
と思う程大きく見えた事だ。
今考えて見れば自分が小さ
かった事とせまい運動場に
二百人余りがひしめき合っ
ていたのだから無理もない。
一年生の終り頃、学芸会の
練習の際、教室で餅をやき
乍ら霜やけの手を火鉢にか
ざしセリフをおぼえていた。
日もせまり仲々おぼえられ
ずいつもしかられた。あの
時、女先生の髪が立つ程、
私には立った様に見えた。
それは先生と生徒が一体と
なりお互い正視し乍らの、

新郷小学校の年輪

新郷小学校の歴史を前任
の林校長が在任中に調査を
しながらまとめ上げました。
その時に聞かされました
のの一部を書いてみました。
う。新郷小学校は明治二十
五年新小学校令の実施に伴
い西今市、新民両校が統合
新郷小学校と名称し、現在
の地（中浜一七番地）
敷地二一七坪に二階建の校
舎を建設されたものです。
それ以前のことを下に書き
てみます。

設立	場所	修業	職員	授業日数	在籍
明治十三年	中ノ浜村	八ヶ年	二人	二四〇日	三二人
明治六年	西今市村	八ヶ年	二人	二一〇日	一六五人

新民小学校 西今市小学校
中ノ浜村 西今市、竹松
角屋、北本堂
公文、宮前
藤沢、玉ノ江

※明治二十二年町村制で本庄村に編入

勉強だったから、それに
気付いたのだろうと想いな
つかしいものである。

三、四年の頃は掛算の九
九とそろばんに明けくれた。
特に掛算は一息でその一つ
の段を言えないとしかられ
た。今想えば体力づくりも
かねられていたのかもしれ
ない。二年生で戦争が初ま
り六年生で戦争が終った。
だから、校庭の半分は、食
糧づくり馬鈴薯、甘薯、南
瓜と野菜畑に変わった。

五年生の頃、先生もいつ
兵隊に行かねばならなくな
るかも解らないからと私物
を皆に分けられた事をおぼ
えている。私は先生の筆を
もらった。うれしかった中
に何とも言えないさみしさ
をもかくせなかつた事をお
ぼえている。

坪田 万右工門

明治二十五年設立後の新
郷小学校は現在八十九年目
年輪を数えいろうな出来事
もありました。特に記憶に
残る事は昭和二十七年に本
荘村議会に於て新郷小が本
荘校に合併の議決がされた
事です。此の時は校下民全
員の反対集会を開いての猛
反撃に議決は留保となった。
昭和三十年の年には町村合
併により竹松、西今市、藤
沢、玉ノ江の四部落が三国
町へ編入し児童六十八名が

戦争中なので学科の中に
手旗信号があった。ある雨
の日試験が内運で行なわれ
た。先生の出題は「今日は
雨なり」であった。早とち
りの私は答案に「今日はア
ソなり」と書いてしまった。
目で見た事と頭の中だけで
メとソの区別がつかなかっ
たのだ。今日は……なり」
まで解れば解りそうなもの
だが、なつかしい思い出の
一つである。書き順の間違
いの出来事は今でも時々想
い出されてくやまれる。き
りがないので筆を折るが、
最後に一つ、運動場に大き
な「額」に「自疆」と書か
れていたのをおぼえている。
「自から勉めて励む」と字
書には書いてある。又その
下に術をつければ、気力と
体力を身につけることであ

山崎 新右工門

私は五十余年の昔昭和三
年から九年まで在任し、当
時は、日本が満洲朝鮮など
海外に勢力を張っていた頃
です。新郷尋常小学校は一
クラス三十人前後で全校生
徒数は今の倍です。もっと
も校下の区域も大きく、今
の三国町竹松、西今市、藤
沢、玉ノ江の四部落を加えた
九部落から生徒が集まって
来たものです。校舎の輪郭
は、今の屋外運動場の東西
方向に一棟（西方から音楽
室一年生、四年生教室）、
東側の南北方向に一棟（北
方から理科室五年生六年生
教室）がL型に木造の瓦葺
平屋建であった。今の屋内
運動場の位置で、県道近く
から小使室炊事場便所屋内
運動場教員室宿直室が西側
一列に並んでいた。従って
校舎全体はコの字型に配置
されていたわけです。屋外
運動場は、今の各学年教室
の位置にあり、一番北側は
江で周囲には桜が植えられ
春は大変きれいであった。
コ字型校舎の南側中広場は
花壇と中央には天皇陛下
の写真と教育勅語を納める

るらしい。これから中学校
高校と進まねばならぬ諸君
自ら励んで活路を開いて行
ってもらいたい。
母校のほのかな暖かい想
い出を胸に秘めながら。

コンクリートの奉安殿があった。今の通用門附近から西側屋内運動場南端に玄関があった。更に県道沿いには桜が植えられ、今ある立派な松の木が当時の面影の唯一のもので。教科面の記憶では、秋季体育大会には男子が東西両軍に分れて背のうをつけて手廻しでパチパチ鳴る竹筒鉄包をつくり屋外運動場で模擬戦闘をしたり、隊列をつくっての観閲行進をしたり、今の自衛隊さながらの訓練をした。今の三人一組の騎馬戦やドッジボールなど当時の競技種目であったが今の水泳はなかった。今の道徳面では修身の課目を校長先生から受け、こわくきびしい授業であった。元旦の四方拜など年何回かの挙式には、男子

は洋服、女子は袴をつけての盛装姿で参列した。六年生を卒業すると、本荘尋常高等小学校の高等科(二年)へ進むものと、三国など中学校(五年)や坂井など農学校に進むものがいた。本荘高等科の生徒が帰宅の際新郷小学校に立ち寄ることが多く、体格も大変に大きかったので、こわく威圧を感じていた。又当時ヒゲのある先生はこわかった。当時小さい学校ながら立派な諸先生のおかげで、今日一人前の成人になり大変に感謝している一人です。最後に新郷小学校の改築を迎え、新郷地域文化センターである新設校舎の配置、その内容こそ充実したものを建ててほしいことを願って止みません。

この名譽ある郷村に生きた我等の祖父たちは、あるときは一丸となって時の権力に抗し、平和時には農業生産にいそしみ用水を分ち合い、日常的な相互扶助の共同組織として貢納収取戸籍等の事務を自主的に処理し、地域文化経済の発展過程を通じて国家存立の基礎を支えて来たのである。この由緒ある「新郷」の名を捨てて、他町に分村合併していった西方数個の村落がある。今その町の東部という名を拝領して彼等は御満悦の態であるが、何が彼等をしてあの町へ、骨肉を割いて走らせたのであろうか。名か利か、はたまた情であったか。知るよすがもないが、かの町のうつろな繁栄が人間の弱点を操る手管の中にあることを思うとき、ああわれよくぞこの榮譽の地に残り残りという感慨にふけり無上の喜びを感じるのである。「新郷」という名の栄冠を剥がされて、東部という乾いたシャッポをかぶせられずに済んだことを心の奥底から感謝する。

新郷の里

篠崎 清見

我が郷土芦原町を、数個の村落を結合した地区に区分して、新郷、本荘、山方、中筋等々と呼んでいる。これらは現在専ら、町議その他の公職選挙、農協等公的団体の役員の定数配分の地盤として、はたまた芦原町内地区対抗の競技団その他の集団結成の母胎として大いに活用されている。

もとより法律行政上の根拠を持つものでなく、便宜的慣習的組織でこの町村にも見受けられる地域区分

の命を維持しつつ、地区住民の生活意識と体験の中に脈々と息づいているのである。この名譽ある郷村に生きた我等の祖父たちは、あるときは一丸となって時の権力に抗し、平和時には農業生産にいそしみ用水を分ち合い、日常的な相互扶助の共同組織として貢納収取戸籍等の事務を自主的に処理し、地域文化経済の発展過程を通じて国家存立の基礎を支えて来たのである。

この名譽ある郷村に生きた我等の祖父たちは、あるときは一丸となって時の権力に抗し、平和時には農業生産にいそしみ用水を分ち合い、日常的な相互扶助の共同組織として貢納収取戸籍等の事務を自主的に処理し、地域文化経済の発展過程を通じて国家存立の基礎を支えて来たのである。

この名譽ある郷村に生きた我等の祖父たちは、あるときは一丸となって時の権力に抗し、平和時には農業生産にいそしみ用水を分ち合い、日常的な相互扶助の共同組織として貢納収取戸籍等の事務を自主的に処理し、地域文化経済の発展過程を通じて国家存立の基礎を支えて来たのである。

この名譽ある郷村に生きた我等の祖父たちは、あるときは一丸となって時の権力に抗し、平和時には農業生産にいそしみ用水を分ち合い、日常的な相互扶助の共同組織として貢納収取戸籍等の事務を自主的に処理し、地域文化経済の発展過程を通じて国家存立の基礎を支えて来たのである。

まで進んでいるようである。それにつけて、彼の町に走った同胞が共に新郷の地に踏み止まってくれて、この気運の中に、同窓同級この顔の顔を見ることのできたらな—と返らぬ繰り言が出る。というのは、村落の数からいえば約半数を、生徒数においてもそれに近い数をもぎ取っていった彼等のおかげで、私は長い間、統合論に加担して来た。教育の効果でなくその効率において新郷小学改築は、教育経済の原理に背馳している。人間欲望は無限であり、その能力は有限である。欲望と能力の均衡が破れるところに人間の破滅がある。愛する新郷の同胞は、自己の能力即ち町財政の限度を超えて、欲望を満たすため、無いものねだりしているのではないだろうか。

この名譽ある郷村に生きた我等の祖父たちは、あるときは一丸となって時の権力に抗し、平和時には農業生産にいそしみ用水を分ち合い、日常的な相互扶助の共同組織として貢納収取戸籍等の事務を自主的に処理し、地域文化経済の発展過程を通じて国家存立の基礎を支えて来たのである。

この名譽ある郷村に生きた我等の祖父たちは、あるときは一丸となって時の権力に抗し、平和時には農業生産にいそしみ用水を分ち合い、日常的な相互扶助の共同組織として貢納収取戸籍等の事務を自主的に処理し、地域文化経済の発展過程を通じて国家存立の基礎を支えて来たのである。

この名譽ある郷村に生きた我等の祖父たちは、あるときは一丸となって時の権力に抗し、平和時には農業生産にいそしみ用水を分ち合い、日常的な相互扶助の共同組織として貢納収取戸籍等の事務を自主的に処理し、地域文化経済の発展過程を通じて国家存立の基礎を支えて来たのである。

ながら私も未だにその一回目も了していないのである。「安い政府」が人口にかいしやされている。「安い教育」こそ真の教育ではないか。—というのが私の持論であった。

この名譽ある郷村に生きた我等の祖父たちは、あるときは一丸となって時の権力に抗し、平和時には農業生産にいそしみ用水を分ち合い、日常的な相互扶助の共同組織として貢納収取戸籍等の事務を自主的に処理し、地域文化経済の発展過程を通じて国家存立の基礎を支えて来たのである。

この名譽ある郷村に生きた我等の祖父たちは、あるときは一丸となって時の権力に抗し、平和時には農業生産にいそしみ用水を分ち合い、日常的な相互扶助の共同組織として貢納収取戸籍等の事務を自主的に処理し、地域文化経済の発展過程を通じて国家存立の基礎を支えて来たのである。

この名譽ある郷村に生きた我等の祖父たちは、あるときは一丸となって時の権力に抗し、平和時には農業生産にいそしみ用水を分ち合い、日常的な相互扶助の共同組織として貢納収取戸籍等の事務を自主的に処理し、地域文化経済の発展過程を通じて国家存立の基礎を支えて来たのである。

土新郷の地に文化的経済的発展の拠点は欲しい。改築新校舎の周辺に、文化の華が咲き、新知識が生まれ、経世の英雄が育ち、経済の大家が輩出すれば、我が新郷の里は、かつて分村合併によって勢力を滅殺されたりといえども、自主独立の郷土として再生し、真の自立を達成する日も来よう。その日の到来を夢見て我が老胸に春の息吹が心地よい。

この名譽ある郷村に生きた我等の祖父たちは、あるときは一丸となって時の権力に抗し、平和時には農業生産にいそしみ用水を分ち合い、日常的な相互扶助の共同組織として貢納収取戸籍等の事務を自主的に処理し、地域文化経済の発展過程を通じて国家存立の基礎を支えて来たのである。

この名譽ある郷村に生きた我等の祖父たちは、あるときは一丸となって時の権力に抗し、平和時には農業生産にいそしみ用水を分ち合い、日常的な相互扶助の共同組織として貢納収取戸籍等の事務を自主的に処理し、地域文化経済の発展過程を通じて国家存立の基礎を支えて来たのである。

この名譽ある郷村に生きた我等の祖父たちは、あるときは一丸となって時の権力に抗し、平和時には農業生産にいそしみ用水を分ち合い、日常的な相互扶助の共同組織として貢納収取戸籍等の事務を自主的に処理し、地域文化経済の発展過程を通じて国家存立の基礎を支えて来たのである。

両親学級 親よ厳しくあれ!!

二月の両親学級講演は、春江小の校長先生本田汪先生にお願いしました。先生を『教育直言』等で知っておられた方も多かったのではないのでしょうか。

もった語り口に、終始圧倒され、思い当たるふしがあつてうなったり、反省したりの時間でした。特に「失敗から学ばせる」親の生きざまを示せ」という言葉は耳に残っています。

トピックス

編集後記

芦原ライオンズクラブより、本校児童のために有益な本を多数寄贈されました。内容は次の通りです。

御卒業のみなさん、おめでとうございます。今年も卒業記念号をお届けできることになりました。ついこの間までは雪の毎日でしたのに、急ピッチで春が近づいているようです。

- 子ども科学図書館 全三十冊
- 図工科絵本 全八冊
- (両方で三万円相当)

今回は、特集の卒業の他新郷校の歴史や思い出、将来の構想などでたちまち紙面は埋まりました。ご投稿下さいました皆様にご心よりお礼申し上げます。

また、岩波書店からも幼年文庫等の本が寄贈され学校の図書館にずらりと並べられました。子ども達は大変喜んで利用しています。ありがとうございます。

御卒業のみなさん、おめでとうございます。今年も卒業記念号をお届けできることになりました。ついこの間までは雪の毎日でしたのに、急ピッチで春が近づいているようです。